

ユーザース・マニュアル

RACKBRUTE 6U
EURORACK CASE

RACKBRUTE 3U
EURORACK CASE

ARTURIA®
YOUR EXPERIENCE • YOUR SOUND

クレジット

ディレクション

Frederic Brun	Nicolas Dubois	Adrien Courdavault	Philippe Vivancos
---------------	----------------	--------------------	-------------------

エンジニアリング

Valentin Lepetit	Benjamin Renard	Victor Morello
Nicolas Dubois	Luc Walrawens	

マニュアル

Gert Braakman	Florian Marin
---------------	---------------

デザイン

Sebastien Rochard	DesignBox	Sylvain Missemer	Morgan Perrier
-------------------	-----------	------------------	----------------

ベータテスター

Chuck Capsis	Adrien Kanter	Andrew Capon	Reek Havok
Terry Mardsen	Jean-Philippe Gross	Gert Braakman	Randy Lee
Marco Correia	Ken Flux Pierce	Tom Hall	

© ARTURIA SA - 2017 - All rights reserved.
11 Chemin de la Dhuy
38240 Meylan
FRANCE
www.arturia.com

本マニュアルに記載されている情報は、予告なく変更されることがあり、Arturiaが責任を負うものではありません。本マニュアルに記載されているソフトウェアは、ライセンス契約、または機密保持契約の元に提供されています。ソフトウェア・ライセンス許諾は、合法的な使用での期間と条件を明記しています。本マニュアルの内容の一部は、Arturia S.A.の書面による許諾無しにいかなる形式、でも購入者の個人使用以外で複製することはできません。

本マニュアルで引用されたその他すべての製品、ロゴ、会社名はそれぞれの所有者の商標、または登録商標です。

Product version: 1.0

Revision date: 12 April 2018

Arturia RackBruteをお買い上げいただきましてありがとうございます。 います。

このマニュアルでは、ArturiaのRackBrute 3UとRackBrute 6Uの機能と動作について説明しています。

本パッケージには以下のものが含まれています。：

- RackBrute 3U、または 6Uユニット（パワーサプライ付）
- 15V-3000mA パワーサプライ+ 電源コード
- リンク固定システム：ハンドル+ネジ×4
- 予備ネジとワッシャー+ゴムパッド

購入後はできるだけ早くRackBruteを登録してください！ ボトムパネルにユニットのシリアルナンバーを記載したステッカーが貼られています。これはオンラインでの登録時に必要になります。破損した場合は、別の場所に記録したり、ステッカーの写真を撮っておくことをお勧めします。

RackBruteを登録すると、RackBruteシリーズプロダクトのオーナー限定のスペシャルオファーを受けることができます。

ご使用上の注意

仕様変更の可能性：

本マニュアルに記載されている情報は、印刷時に正しいと考えられています。しかし、Arturiaは、購入したハードウェアを変更、アップデートする義務を負うことなく、予告なしに仕様の変更を行う権利を有します。

重要：

この製品は、アンプ、ヘッドフォン、スピーカーと組み合わせて使用することができ、難聴を引き起こす可能性のある音量レベルを生成することがあります。高い音量レベルや不快な音量レベルで長時間の試用は避けてください。

聴覚障害や耳鳴りが生じた場合は、聴覚医に相談してください。

警告：

（製品が設計通りに動作している場合）各機能がどのように動作するかに関する知識不足のために発生したサービス料金は、製造元の保証の対象外となり、所有者の責任となります。サービスを依頼する前に本マニュアルを熟読し、販売店にご相談ください。

注意事項には、以下のものが含まれますが、これに限定されるものではありません。：

1. すべての指示を読み、理解してください。
2. 常に製品の指示に従ってください。
3. 製品をクリーニングする際は、必ずUSBケーブルを取り外してください。クリーニングの際は、柔らかく乾いた布を使用してください。ガソリン、アルコール、アセトン、テレピン、その他の有機溶液を使用しないでください。過剰にぬれている湿った液体クリーナー、スプレーや布を使用しないでください。
4. バスタブ、シンク、プールまたは類似した水や湿気の多い場所の近くでの使用は避けてください。
5. 誤って転倒する可能性のある不安定な場所に製品を設置しないでください。
6. 製品の上に重いものを置かないでください。製品の開口部や通気口をふさがないでください。これらの場所は、製品が過熱することを防ぐために、空気の循環に使用されます。空気の循環が悪い場所では、通気口の近くに製品を置かないでください。
7. 製品を開かないでください。そして火災や感電の原因なるものを混入しないでください。
8. あらゆる種類の液体を製品にこぼさないでください。
9. 故障の可能性がある場合は必ず資格のあるサービスセンターにお持ちください。変更を加えた場合、保証は無効となります。不適切な組み立ては、感電やその他の誤動作を引き起こす可能性があります。
10. 雷が発生した時には、楽器を使用しないでください。距離が離れていても感電の恐れがあります。
11. 楽器を直射日光に当てないでください。
12. ガス漏れが発生している場所付近で楽器を使用しないでください。
13. Arturiaは本製品の不適当な使用方法に起因する故障、破損、データ損失にも責任を持ちません。

はじめに

Arturia RackBruteをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます！

RackBruteは、調整可能なEurorackハウジングシステムで、Eurorackモジュールの保管、保護、と電源供給を行うことができます。RackBruteリンクシステムを使用すると、MiniBrute 2、2SとRackBrute 3Uや6Uなどのリンク対応ユニットと組み合わせで使用することができます。

私たちは、この強力で良く考えられデザインされたEurorackケースをお届けできることを喜んでます。これは、長年の研究の集大成であり、Eurorackの世界に対する私たちの情熱と音楽への深い感謝の完璧な組み合わせです。

定期的に[Arturiaウェブサイト](#)をチェックして、他の製品、チュートリアルやFAQをご確認ください。

敬具、Arturiaチーム

もくじ

1. ギャップの橋渡し.....	2
1.1. Eurorack規格.....	2
1.2. 魅惑のアドベンチャー.....	2
2. RackBruteについて.....	3
2.1. RackBruteリンクシステム.....	3
3. RackBruteケース.....	3
3.1. アングルについて.....	4
3.2. システムの組み立て.....	6
3.3. レール.....	7
3.4. パスボード.....	7
3.5. 電力必要要件についての理解.....	8
4. モジュールの取り付け.....	9
5. RACKBRUTEとその他のARTURIA製品.....	11
5.1. RackBrute と MiniBrute 2と2S.....	11
5.2. RackBruteとMiniBrute.....	14
5.3. RackBruteとMatrixBrute.....	15
5.3.1. コントロールボルテージミキサーとしてのMatrixBrute.....	15
5.3.2. シーケンスクリエーターとしてのMatrixBrute.....	15
5.4. RackBruteとBeatStep Pro.....	18
5.5. RackBruteとDrumBrute.....	19
6. Declaration of Conformity.....	20

1. ギャップの橋渡し

Arturiaは過去10年間にわたり、MicroBrute、MiniBrute、MatrixBruteなど、いくつかの非常に高度なプロダクトによってアナログシンセサイザーの復活を支えてきました。

同じ10年の間に多くのミュージシャンがEurorack規格を採用しました。それに驚きはありません。：Eurorackの環境を人気のあるものにするだけで独自のサウンドを作りやすくなるからです。それがEDMであろうと、複雑なアンビエントミュージックであろうと、Eurorackモジュールは、ユーザーの音楽スタイルに合ったものに行うことができます。

Arturiaの新しい世代のプロダクトでは、インターフェイスオプションを加え、プロダクトをモジュラーラックに簡単に接続できるようにしました。近年、BeatStep Proは、外部オシレーターのコントロールに使用できるゲート、ピッチ、ベロシティ出力を備えているため、モジュラーを愛用しているミュージシャンにとって最適なコントローラーになっています。さらに、8系統のドラムゲート出力があり、Eurorackドラムモジュールをトリガーすることも可能です。

MiniBrute 2とRackBruteは、その統合をさらに進化させます。MiniBrute 2は、すべてのコンポーネントとEurorackの複雑な接続を可能にし、統合されたパッチボードを備えた高度なアナログシンセです。

それに止まりません。：Arturiaは、ハイクオリティなEurorackケースRackBruteを開発しました。RackBruteは、MiniBrute 2とMiniBrute 2Sに接続することができますが、スタンドアローンのユニットとしても使用することができます。ゲート、ピッチ、ベロシティの出力を持つ Arturiaコントローラーで使用することができます。

1.1. Eurorack規格

1996年にDieter Doepferは、エフェクトユニットやその他のスタジオ機材を収納するための一般的なフォーマットであった（現在も）19インチラックフォーマットをベースとしたケースを作成しました。また、電源モジュールとモジュールを接続するバスボードの規格も設定しました。それは現在Eurorackとして知られているものの規格となるものでした。

ゆっくりとしたスタートの後、Eurorackフォーマットはすぐに勢いを増しました。：モジュールは低価格でコンパクトでした。数年後、利用可能なモジュールの数は飛躍的に増加しました。この驚異的な成長は理解しやすいもので、それはミュージシャン/サウンドデザイナーが独自のカスタマイズされた楽器を作成できるようになったためです。

1.2. 魅惑のアドベンチャー

ケース内をモジュールで満たし始めると、無限の質問に直面します。：どのようなモジュールが必要か？なぜ特定のモジュールが普及するのか？アナログオシレーターを標準装備にするか、デジタル化したほうが良いか。西海岸のシンセか、東海岸のシンセか？

これらの質問に対する回答は、ゆっくりとお答えします。：オンラインでフォーラムを読むことでユーザーの経験を比較したり、もっとも重要なのは使用を深めることです。選択した機材に満足できない場合には、使用しているモジュールを販売することができる中古のEurorackモジュール用の市場が繁栄しています。

あなたが何をすべきか、モジュールによって何ができるかすべてを知るには時間がかかります。何が起きているかを理解せずにランダムにお使いのシステムのノブの前に座り続ける状況を避けることに役立ちますが、何か魔法が起こることも期待しています。これは魅力を失うことのある特定のレシピです。あなたが感じる魅力を維持するためにモジュール1つずつの機能を学び、継続的に知識をテストしてください。想像しているようにサウンドを作り出せるような体験をすることが唯一の方法です。

2. RACKBRUTEについて

RackBruteは、調節可能なEurorackハウジングシステムで、サウンドモジュールの保管、保護、電源供給を行うことができます。ポートフォーマットのレールベースのラック、ソリッド電源モジュール、そしてモジュールを接続するための十分なスペースをていきょうするバスボードで構成されています。電源モジュールのLEDは、Eurorackモジュールに給電する電力の状態を表示します。RackBruteには、3Uと6Uの2つのサイズがあります。

2.1. RackBruteリンクシステム

あなたのモジュールを机の上に置いてパッチング、立った状態のアンクル、パフォーマンス中の目の前に等、RackBruteをどんなシチュエーションでも使用状況もカバー可能です。安全な移動や保管のためにシステムを折りたたむことも可能です。

さらに重要なことにRackBruteリンクシステムは、MiniBrute 2や2S、RackBrute 3U、または6Uなどのリンク対応ユニットを組み合わせることが可能です。



互換性のあるシステムとリンク



複数のケースとリンク



折りたたみオプション

3. RACKBRUTEケース

Eurorackケースの幅は、“HP”で計測されます。公式には“HP”とは、“Horizontal Pitch”の略ですが、それが“Hole Points”の略であると聞いても驚かないでください。“Hole Points”とは、ラックレールのネジ穴を指しているものです。この記述が理にかなっていると言えるのは、これによって、モジュールがどのくらいのスペースを占めるのかがわかるからです。もっとも一般的なサイズは、48HP、84HP、104HPです。1HPは、0.2インチ（または5.08mm）です。Eurorackケースの垂直方向のサイズは“U”で示されます。1Uは、1.75インチ（または44.45mm）です。一般的にEurorackモジュールの高さは3Uです。例外として1Uのユーティリティモジュールがありますが、それらは頻繁に目にするものではありません。

Eurorackケースには、ポートケースとスキップケースという2つのモデルがあります。；スキップケースは浅い作りになっています。興味深いモジュールの多くはスキップケースには適合しません。しかし、これには利点があり、持ち運びが楽になります。ポートケースは、一般的であり、Eurorackモジュールには適しています。RackBruteはポートケースを採用しています。

RackBrute 3Uと6Uケースは、幅88HPです。その内、5 HPは、電源モジュールによって使用されるので、残りは83HPです。6UのRackBruteは下段に追加の88HP分のスペースが用意されています。これはスターターシステムには十分と言えるでしょう。MiniBrute 2や2Sと組み合わせてRackBruteを使用すると、オプションがさらに増加し、RackBruteから多くの機能を取り外すことができ、他の興味深いEurorackモジュールのためのスペースを増やすことができます。

電源モジュールの上部には、オン/オフ・スイッチがあります。下部には、RackBruteの3本の電源ラインがどうかを示す3つのLEDがあります。これに関する詳細は、[電力要件の理解](#) [p.8]を参照してください。

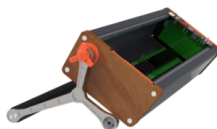
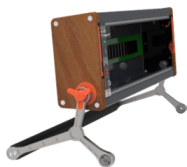
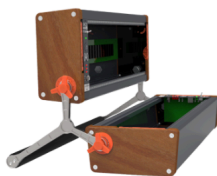
3.1. アングルについて

RackBrutesは、様々な方法で使用できます。リンクシステムが取り付けられていなければ、それは机上で平らに横たわっています。リンクシステムを低位置すると、モジュールはわずかに傾いて各モジュールをより良く見えるようになります。アップライトポジションにするとRackBruteは、最小限のスペースでの使用が可能になります。スタンディングポジションにすると、RackBrute目の高さまで持ち上げることができ、MiniBrute 2や 2S等、他のリンク対応システムにリンクすることができます。



アングル

3UのRackBruteは同じオプションを持ち、別の3U、または6Uユニットにリンクすることができます。



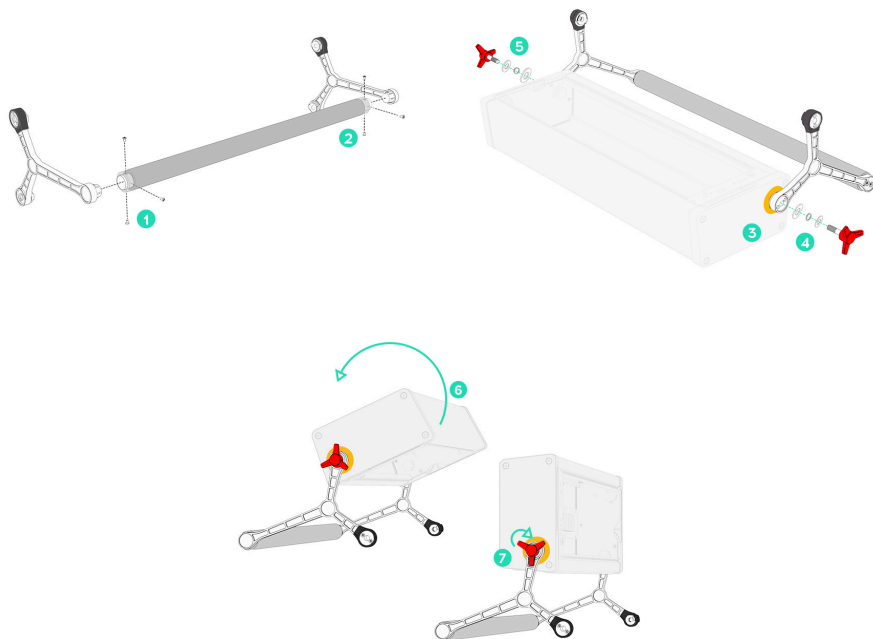
RackBrute 3U

6Uユニットは、別の3U、6Uユニットにリンクすることができ、同じような方法で折りたたむことができます。



RackBrute 6Uリンクオプション

3.2. システムの組み立て



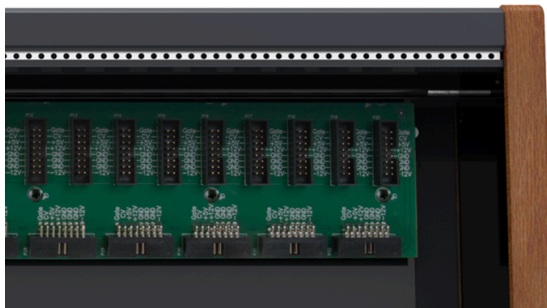
ラックへのセットアップ

1. 最初に組み立てに十分なクレーンで「平らな作業台など」を「こ」用意ください。まず「Y」字のクロス(Y字形)とハンドル「ルバー」を組み立てます。左側のクロスとハンドル「ルバー」をクレーンのネジ×3本で「止めます」。この時は「緩めにしておいてください」。
2. 右側のクロスとハンドル「ルバー」を残りのクレーンのネジ×3本で「止めます」。ここまで「のネジ」(合計6本)をしっかりと締めます。
3. RackBrute本体を作業台に「寝かせた状態」にして置き、固定ネジ(赤)にワッシャー(3種類)を通します。
4. ワッシャー(3種類)を通した固定ネジ「にオレンジ色のリンク・ポートに差し込んで「緩めに」締めます」。
5. 3～4の作業を繰り返して、「反対側」にも固定ネジ「を取り付けます」。
6. RackBruteを立てた状態にします。
7. RackBruteのアンクルが「最大になっていることを」確認し、「固定ネジ」をしっかりと締めます。

i 注意: アンクルの中間位置では固定ネジは完全に締まりませんので「こ」注意ください。RackBruteのアンクルを変更する際は、必ず「固定ネジ」を緩めてから行ってください。警告: Bruteシステムの中間位置は固定ネジで完全に固定することはできません。ユニットを開閉するときはリンクポートを必ず緩めてください。!重要な注意事項: ラックに電源が入っている時はモジュールを接続/切断をしないでください。

3.3. レール

ケースのレールを使用してモジュールをラックに設置することができます。モジュールのコレクションが増えていくと、モジュールのネジを外して別の、または論理的な、より適切な位置にモジュールを移動させることが考えられます。RackBruteはスライドナットを使用する古いシステムとは異なり、ネジ付きナットストリップのシステムを使用します。



ナットストリップ

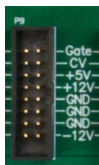
RackBruteに使用されているナットストリップには、モジュールを取り付けるために残したネジ穴の数があるという利点があります。スライドナットがケースの反対側にあるため、すべてのモジュールのネジを外さなければならない状況にはなりません。

3.4. バスボード

ケースの中には、バスボードと、パワーモジュールなどの電子部品があります。バスボードは、モジュールを接続する場所です。注意深く見ると、一番上に20個のソケットがあります。そして6Uのケースでは、下の列に12個のソケットがあります。それらの隣には、どのような種類の信号がバスのパワーラインを流れるかを説明しているラベルがあります。

バスボード上の16ピンはペアで配置されています。下の部分がかつても重要で、モジュールに電力を供給する+12Vと-12Vのラインがあります。+5Vラインは、主にデジタルモジュールで使用されます。場合によっては、バスボードの下半分だけを使用する10ピンケーブルに接続するモジュールもあります。

上から下に向かって以下のようなものがあります。：



パワーライン/ボルテージ



！： RackBrute規格は、Doepfer A-100パワーバスと互換性があります。

3.5. 電力必要要件についての理解

Eurorackモジュールの消費電力要件はモデルによって異なります。いくつかは電力不足であったり、一部は最小限の電力だけで動作が可能です。パッシブの複製は、コントロール信号のコピーを作成することができれば、電源は必要ありません。

RackBruteの電源は、+12Vラインで1600mA、-12Vラインで1600mAの消費電力を提供するように設計されています。6Uユニットでこの電力は、4系統の別の回路に分配されます。+5Vラインは、最大900mAを供給可能です。

Rackbruteの電力仕様（一般的な数値）：

- +12V : 1600mA
- -12V : 800mA
- +5V : 500mA
- 最大電力負荷 : 31.3W


これにより、バス当たり12~20個のモジュールに電力を供給するのに十分なヘッドルームが得られます。しかし、RackBruteのような強力な環境を備えていてもモジュールが消費する電力を知っておくことは重要です。使用しているモジュールの電力が弱まると、それが誤動作の原因になることがあり、故障の原因になる可能性を引き起こします。

モジュールを選ぶ場合、電源が供給可能な範囲の80%を超えないようにすることをお勧めします。その結果、スパイクや誤動作に対する20%のヘッドルームが保たれることとなります。

 注：モジュールを購入する時にモジュールの消費電力をチェックする習慣を持ちましょう。一般的な使用は次のようになります。： +12V: <40 mA -12V: <10 mA +5V: <10mA

例：一般的な3Uユニットは、+12Vラインに合計で440 mA、-12Vラインに175 mA、5Vラインに80 mAを使用します。原則的にモジュールは、+12Vラインからの電力の大部分を引き出すことになり、-12Vラインからの電力は少し少なくなります。LCDスクリーン付きのデジタルEurorackモジュールを機能させるには、5Vラインが必要です。

Eurorackの初期は、ラック内のモジュールに電源を供給するために十分なパワーを供給できるかを知るためにこれらの値を自分で計算する必要がありました。これを1回は行ってみるというのは良い習慣ですが、今日ではこれを行うオンラインオプションがあります。詳細については、[モジュールの取り付け \[p.9\]](#)を参照してください。

 注：6U RackBruteには2列のコネクターがあります。：1列目は20、2列目は12です。各列は、-12Vと+12Vで最大800mAを供給することができます。2つのバスボードに負荷を分散して各列への過負荷を避けることをお勧めします。

4. モジュールの取り付け

いくつかのモジュールを取り付ける予定がある場合は、RackBruteにどのように配置するかあらかじめ考えておくことをお勧めします。；モジュールを機能別にグルーピングしたり、機能を分散させますか？オシレーターをまとめてグルーピングしたり、フィルターをまとめたり、専用の機能を持つモジュールをケースの上に広げますか？

Modulargridを使用してRackBruteを再作成することをお勧めします。使用したいモジュールをプランに適合させるための良いアイデアが得られます。

！: Modulargridには、優れたインフォメーションの他にRackBruteを最大限に活用するための2つのツール、電力計算を行う“power calculation tool”とスペースを有効に使うための“space optimization tool”があります。スペースツールは、RackBruteで使用可能なスペースを最適化するのに役立ちます。

初めてモジュールを取り付ける瞬間というのはとてもエキサイティングな瞬間です！モジュールの破損をさけるために以下の手順を慎重に行ってください。RackBruteのレイアウトを行うことは、モジュールを設置するときに正しい決定をするのに役立ちます。

モジュールを設置するには、以下の手順が必要です。：

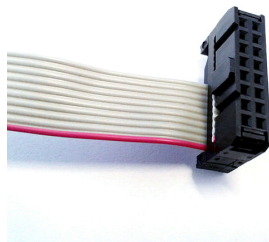
- 電源が入っている場合は、RackBruteの電源をオフにしてから電源を切り離してください。
- Eurorackモジュールのマニュアルを確認してください。おそらく、モジュールを電源バスに接続する方法がわかります。まれにこれらの手順が以下の手順と異なる場合は、モジュールの指示に従い、モジュールの製造元に再度確認してください。
- Eurorackモジュールに付属のリボンケーブルを確認してください。ケーブルには側面に赤いストライプが付いています。この赤いストライプは、バスボード上で-12Vと一直線に並ばなければなりません。RackBruteのソケットは、ケーブルのコネクタを挿入する方法が1つしかないように設計されています。：

！ 購入したものを保護するために、供給されたフラットケーブルが製造上の誤りが無いか視覚的に確認してください。

- フラットケーブルの赤いストライプがモジュール上の-12Vにあたるかどうかを確認してください。

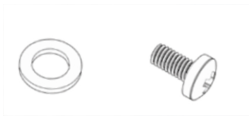


ケーブルのアップ



コネクタ部

- フラットケーブルのコネクタをバスボードのソケットに慎重に挿入してください。突起部は、間違った方向に挿入することはできません。
- 付属のネジを使用してモジュールをレールに取り付けます。



ネジとワッシャー

- すべての接続をダブルチェックして、RackBruteの電源ケーブルを再接続してください。
- RackBruteの電源スイッチを“ on”に切り替えてください。
- 充分にお楽しみください。



ヒント： 取り付ける際は、プラスチックワッシャーを使用してモジュールを損傷から保護してください。

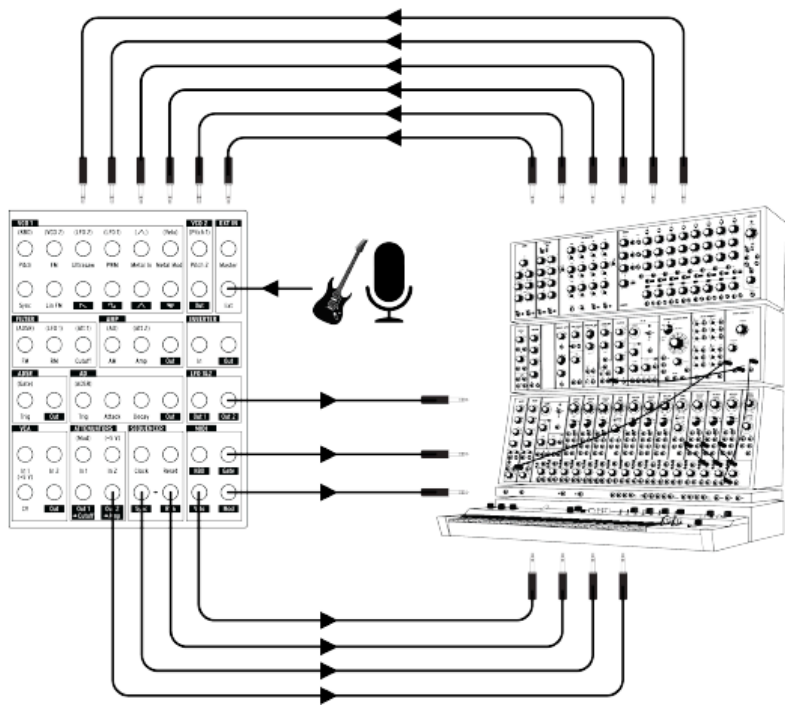
5. RACKBRUTEとその他のARTURIA製品

5.1. RackBrute と MiniBrute 2と2S

MiniBrute 2はそれ自体が魅力的なアナログシンセサイザーですが、RackBruteと一緒に使うことで無限のオプションを手に入れることができます。MiniBrute 2は、RackBrute のEuroRackモジュールをコントロールするように特別に設計されています。そのパッチベイには、28個以下のパッチポイントと20個の出力パッチポイントが含まれています。



MiniBrute 2のパッチベイ



MiniBrute 2とモジュールシステムとの接続例

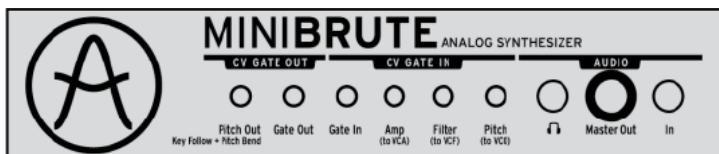
入力	出力
VCO 1 Pitch	Saw
VCO 1 FM	Ramp
VCO 1 Ultrasaw	Triangle
VCO 1 PWM	Random
VCO 1 Metal in	VCO 2 out
VCO 1 Metal Mod	AMP out
VCO 1 Sync	ADSR out
VCO 1 Lin FM	LFO 1 out
VCO 2 Pitch 2	LFO 2 out
EXT IN Master	VCA out
EXT IN Ext	Attenuator out 1
FILTER FM	Attenuator out 2
FILTER RM	Sequencer sync
FILTER Cutoff	Sequencer run
AMP AM	Midi KBD
AMP AMP	Midi Gate
INVERTER In	Midi Velo
ADSR Trig	Midi Mod
AD Trig	
AD Attack	
AD Decay	
VCA In 1	
VCA In 2	
VCA CV	
Attenuator In 1	
Attenuator In 2	
Sequencer Clock	
Sequencer Reset	



パッチペイの詳細については、MiniBrute 2のマニュアルを参照してください。

5.2. RackBruteとMiniBrute

MiniBruteにはEurorackモジュールをコントロールするために使用できるいくつかの入出力があります。



MiniBruteの入出力

- Pitch out
- Gate out
- Gate in
- Amp in (内蔵VCAをコントロール)
- Filter in (VCFカットオフをコントロール)
- Pitch in (VCOをコントロール)



詳細については、MiniBruteのマニュアルを参照してください。

5.3. RackBruteとMatrixBrute

MatrixBruteは、おそらく現在利用可能なもっとも進んだEurorackコントローラーです。Eurorackとの接続を念頭に設計されており、その背面にはEurorack レベルで信号を受け入れる12の入力と12の出力があります。図18に標準的な入出力を示します。



MatrixBruteの入出力

- VCA
- LFO1 Amt
- Ladder filter cutoff
- Steiner filter Cutoff
- VCO2 Metal
- VCO2 PW
- VCO2 Ultra
- VCO2 Pitch
- VCO1 Metal
- VCO1 PW
- VCO1 Ultra
- VCO1 Pitch

これらは、入力と出力の両方として使用することができます。

ゲート入力を使用してMatrixBruteを外部からトリガーすることができます。ゲート出力を使用して、外部メロディシーケンサー、またはドラムシーケンサーをトリガーすることができます。

5.3.1. コントロールボルテージミキサーとしてのMatrixBrute

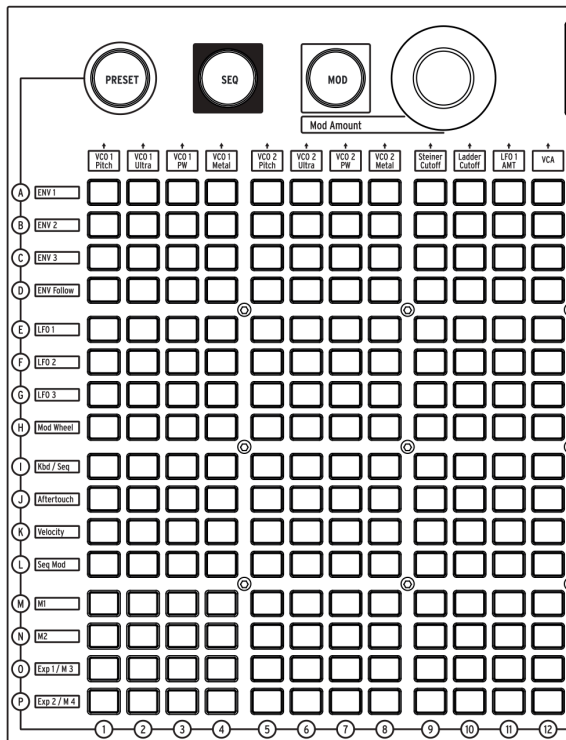
どのようなコントロールボルテージが後部の端子から出力されるのでしょうか？それは、列内のすべてのコントロールボルテージを出力します。すべてのモジュレーションソースは、12の出力のそれぞれにルーティングすることができます。例えば、VCO1のピッチ出力は、その下のれるのすべてのコントロールボルテージA-Pの合計を出力します。

これはどうでしょう？

マトリックスがMODモードである場合、マトリックス上の12個の入力の内の1つにリンクされているソースA-PのCVボルテージは、対応する出力で使用することができます。これがどのように動作するか見てみましょう。：

以下の例では、VCO 1-Pitchという出力でLFO 1のコントロールボルテージを利用できるように設定します。

マトリックスでは...



最初の12マトリクスポジション

- はじめに、MODボタンを押してモジュレーションマトリクスを選択してください。
- E1ボタンを押して、LFO 1からVCO pitchまでのルーティングをアクティブにしてください。
- パッチコードを使用してRackBruteのコントロールボルテージを受け付けるモジュールに接続してください。それはすぐにフィードバックが得られるので、VCOは良い選択です。
- MODEセレクターの隣にあるコントロールノブを使用して、モジュレーション量のレベルを上げてください。LFO 1は、MatrixBruteのVCO1のピッチをコントロールしますが、コントロールボルテージは、背面のVCO1-Pitch出力にも表示され、モジュレーション設定の複雑なモジュレーションソースとして使用できます。

これは、実際には12チャンネルのコントロールボルテージ・ミキサーを持っていて、各チャンネルで16のソースからのコントロールボルテージを合計して非常に複雑なコントロールボルテージを生成できることです。

5.3.2. シーケンスクリエーターとしてのMatrixBrute

MatrixBruteは、パッチをプリセットとして保存できるという点でユニークです。Matrixがモジュレーションモードにあるときに作成すべてのコントロールボルテージ・ルーティングは、プリセットに保存し、呼び出すことが可能です。上記のようにコントロールボルテージ・ミキサーとして使用すると、クリエイティブな選択肢の新しい世界が開かれます。

アナログで作業する場合の欠点の1つは、パッチを素早く変更することが難しい点です。それは、ある音色から別の音色に移動する場合に時間がかかり、面倒な場合があります。MatrixBruteは、それを乗り越えることができます。それはどのようにするか？

- 音楽的な目的に一致したディステーションを選び、背面の出力をお気に入りのディステーションの番号に接続してください。次に、マトリックスをモジュレーションモードで使用してルーティングを作成してください。
- このルーティングは、マトリックスをプリセットモードに切り替えて保存してください。好みのサウンドが得られるまで、新しいルーティングを作成してください。シーケンス/アルペジオが各プリセットに保存されるので、各プリセットに異なるシーケンス/アルペジオを保存することができます。

マトリックスをプリセットモードで使用すると、ボタンを押すだけで最大256のコントロールボルテージ・ルーティングを呼び出すことができます。MatrixBruteは、事前にプログラムされたパッチプリセットを素早く変更できるシーケンスジェネレーターとなっています。



使用可能なモジュレーションソースの概要については、MatrixBruteのマニュアルを参照してください。

5.4. RackBruteとBeatStep Pro

BeatStep Proは、RackBruteにとって理想的なコントローラーです。そのコンパクトなサイズは、旅先やパフォーマンス時にRackBruteにとって最適なものとなります。シーケンサー1とシーケンサー2の両方のピッチ、ベロシティ、ゲート信号は、Eurorack モジュールのコントロールに使用することができます。8つのドラムゲートは、多くの利用可能なEurorackドラムモジュールの1つに接続、またはゲート信号を使用してモジュールのお好きな組み合わせをトリガーすることも可能です。



BeatStep-Proの入出力

シーケンサーが動作していないときでも16個のパッドすべてを使用してRackBruteに接続したモジュールを直接トリガーすることができます。同様にパッド1-8はドラムゲートに接続されたRackBruteのモジュールをトリガーします。

BeatStep Proの別の興味深い使い方は、RackBruteシステムのマスタークロックとして使用することで。これを可能にするためにBeatstep Proにはクロック出力があります。



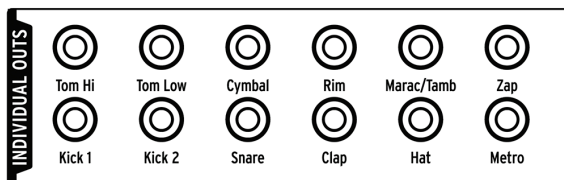
BeatStep Proのシンクオプション

クロック入力を使用してBeatStep ProをRackBruteのクロックモジュールのスレーブにすることができます。フロントパネルのシンクボタンを使用すると、異なるクロックモードに切り替えることができます。

 詳細については、BeatStep Proのマニュアルを参照してください。

5.5. RackBruteとDrumBrute

DrumBruteは、トリガーを出力せず、オーディオ信号を出力するため、前述したインストゥルメントとは異なります。



DrumBruteの出力

オーディオ信号は、オーディオレベルの入力を受け入れるEurorackモジュールに接続することができます。ミックス出力は、個々の出力（インディビジュアルアウト）を合計します。個々の出力（インディビジュアルアウト）の1つが接続されている場合、その出力信号は、ミックス出力から除外されます。この機能により特定の信号をミックス出力から除外することが可能です。

使用可能なオーディオ信号は以下の通りです。：

- Tom Hi
- Tom Lo
- Cymbal
- Rim
- Marc/Tamb
- Zap
- Kick 1
- Kick 2
- snare
- Clap
- Hat



その他の一般的な情報については、DrumBruteのマニュアルを参照してください。

6. DECLARATION OF CONFORMITY

USA

重要な警告：本ユニットを改造しないでください！

この製品は、マニュアルに記載されている指示に従って設置された場合は、FCCの要件を満たしています。Arturiaによって明示的に承認されていない改造は、製品を使用するためにFCCによって付与された権限を取り消される可能性があります。

重要： 本製品をアクセサリや他の製品に接続する場合、高品質のシールドケーブルのみを使用してください。この製品に付属のケーブルを使用する必要があります。すべての取り付け手順に従ってください。指示に従わなかった場合、FCCは、米国で製品を使用する許可を失う可能性があります。

注意： この製品FCCルールのパート15に従ってクラスBデジタルデバイスの制限に準拠していることをテストされています。これらの制限は、居住環境における有害な干渉から妥当な保護ができるように設計されています。このデバイスは、無線周波数エネルギーを生成、使用、放射します。ユーザーマニュアルに記載されている手順に従って設置、使用されないと他の電子デバイスに対する捜査に有害な干渉を引き起こす可能性があります。FCC規則を遵守しても干渉がすべての設備で発生しないことを保証するものではありません。このプロダクトが干渉の原因であることが判明させる場合、ユニットを“オフ”、または“オン”にして判断することができます。次のいずれかの方法を使用して問題を解決してください。：

- このプロダクト、または干渉の影響を受けているデバイスの位置を変更してください。
- 異なる分岐（サーキットブレーカー、またはヒューズ）回路にある電源コンセントを使用するか、ACラインフィルターを取り付けてください。
- ラジオやテレビの干渉の場合は、アンテナの位置を変えたり、向きを変えてください。アンテナリード入力が500Ωリボンリードの場合、リード入力を同軸ケーブルに変更してください。
- これらの是正処置が満足のいく結果をもたらさない場合、このタイプの製品を販売している地元の販売店に相談してください。適切な販売店が見つからない場合は、Arturiaまでご相談ください。

上記の記述は、米国内で販売されている製品にのみ適用されます。

CANADA

注意： このクラスBデジタルデバイスは、カナダの妨害原因機器規制のすべての要件を満たしています

AVIS: Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

EUROPE



このプロダクトはヨーロッパ法令規則89/336/EECの事項に適用しています。

この製品は、静電放電の影響で正しく動作しないことがあります。それが派生した場合は、本製品を再起動してください。